謹賀新年

津奈木町長 山田 豊隆

新年あけましておめでとうございます。お気持ちも新たに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、2020年から流行の新型コロナウイルスは世界各地で多くの死者を出し、甚大な被害をもたらしました。さらに、静岡県熱海市での土砂災害など各地で大きな自然災害に見舞われました。明るいニュースといえば、計30日間に及んだ東京オリンピック・パラリンピック2020。数多くの感動と共に幕を閉じました。皆さまにもたくさんの名場面の記憶が残っていることと思います。

本町での昨年を振り返ると、令和2年7月豪雨からの「復興元年」と位置づけ、1日も早い復旧・復興に全力を傾注した1年でした。復興はいまだ道半ばではありますが、着実に前へ進んできていると感じています。1日も早く安心して生活を送ることができますよう、防災・減災対策に全力で取り組むと共に、皆さまの防災意識の向上と地域防災力の強化のサポートに努めてまいります。

町では新型コロナワクチン接種が2月から始まり、12月15日現在で91・3%の対象者が2回目接種を終えています。現在は新規感染者が減少し、落ち着いた状況ですが、一人ひとりが三密の回避やマスクの着用、手指消毒、換気の徹底など「新しい生活様式」に沿った行動をお願いいたします。

新型コロナウイルスの影響で地域の住民生活や経済活動は大きな打撃を受け、いまだに厳しい状況を続けられていることと思います。昨今の課題である少子高齢化、就労者人口の減少、農業後継者不足など多岐にわたる解決に向けて、皆さまと手を携え、これまで以上にスピード感を持って町政に全力で取り組んでいく所存です。

皆さまにとりまして、ことしが素晴らしい一年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

津奈木町議会議長 川野 雄一

皆さまあけましておめでとうございます。令和4年の年頭にあたり、町議会を代表して新年のごあいさつを申し上げます。日頃から議会活動に対して、深いご理解とご支援をいただき心から感謝申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、東京オリンピック・パラリンピックなど明るい話題もありましたが、新型コロナウイルスのまん延で、緊急事態宣言と不要不急の自粛要請が発出され、普通の生活ができない状態が続いております。また、地球温暖化の影響で、自然災害が多発して国内各地に被害が出ています。本町においても、令和2年7月豪雨で、死者3人、公共施設・農林業施設・家屋などに甚大な被害をもたらしました。この教訓を生かして、大規模災害を想定した防災訓練や防災体制整備の必要性を強く感じているところです。

議会といたしましては、財政状況が厳しい中ではありますが、新型コロナウイルスの終息、災害からの早期復旧、復興を図ると共に、第一次産業振興・少子高齢化対策・防災減災による「安心・安全なまちづくり」を実現するために、行政・町民と一体となり尽力してまいります。

町議会では、議員のなり手不足解消のため、令和2年度から町民との討論の場を設け、議会活動を活性化し、町民の議会への理解を深めるため、議会改革に取り組んでいるところです。その結果、昨年の町議会議員補欠選挙で、新人議員2人が当選し定員割れを解消することができました。今後ますます議会改革を推進し、町民の意見を町政に反映させ、二元代表制の一翼を担う機関として「町民の福祉向上」と「町政の発展」に貢献していく所存です。皆さまのご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆さまにとりまして、実り多き年でありますと共に、皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、あいさつといたします。